

IMDSのデータをJAMAシートに 載せる際の注意事項解説

2019/10/01

JAPIA 物質調査システム分科会

目次

0. 2019年10月Ver.3.02改正の位置付け	－ － － P.3
1. 材料の名称の扱いに関する注意事項	－ － － P.4
2. 材料規格の扱いに関する注意事項	－ － － P.5
3. 標準材料の物質の並び順に関する注意事項	－ － － P.6
4. エラーチェックに関する注意事項	－ － － P.7
来歴	

O. 2019年10月Ver.3.02改正の位置付け

自動車業界の一般的認識として、IMDSとJAMAシートは互換性があるとされていますが、歴史的経緯に起因し、現在でも入力項目の対応関係や内容に若干の相違があります。

JAMAシートのデータをIMDSにアップロードすることは、2000年代後半には可能になっていたものの、逆に、**IMDSのデータをJAMAシートに載せるには多くの課題がありました。**

これらの対応のため、JAMAシートでは、**2018年に日本固有の表記慣習をIMDSに合致させ、今回2019年にIMDS由来の材料データに対するエラーチェックの一部を緩和し、積年の課題が大幅に解消されました。**

現在、自動車業界ではサプライチェーンの川下側から順に、物質調査ツールが、JAMAシートからIMDSへ緩やかに移行しています。その結果、各種業界とサプライチェーンが交わる企業では、新たにIMDSのデータをJAMAシートに載せる必要性が生じてくる場合があります。今回の改正は、それら企業の対応を円滑に行うためのものです。

以降に、IMDSのデータをJAMAシートに載せる場合の、現時点での注意事項を記します。

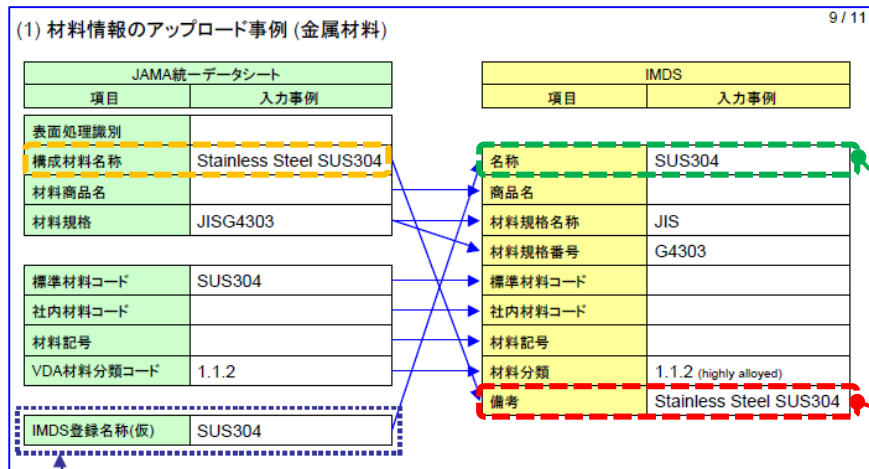
1. 材料の名称の扱いに関する注意事項

1) 背景

JAMAシートでは、2005年頃には既に「構成材料名称」の表記方法が決められていたのに対して、IMDSでは現在の様な表記方法がそれより少し遅れて合意形成されてきました。

この時間差により、両社の間に相違があり、JAMAシートのデータをIMDSにアップロードする際には、次の様な対応関係を持たせています。

2006年9月Ver.2.01改正内容のまとめより



2) データの対応のさせ方

	IMDSの材料データの「 名称 」欄の内容を JAMAシートに載せる	IMDSの材料データの「 備考 」欄の内容を JAMAシートに載せる
標準材料 (JAMAシートで組成情報をもっている JIS材料＝IMDSコミティ材料データ)	<div>△</div> <ul style="list-style-type: none"> ・構成材料名称が不一致となり、Node-ID[材料]が自動削除されてしまうため、(材料規格が複数併記の場合は)Node-ID[材料]に「A」を入力する必要がある。 ・後工程でIMDSにアップロードする場合は、新規材料として登録されてしまう。 	<div>◎ (推奨)</div>
それ以外	<div>◎ (推奨)</div>	<div>○</div> <ul style="list-style-type: none"> ・空白の場合がある ・後工程でIMDSに新規材料としてアップロードする場合は、名称が不適当となる可能性がある

2. 材料規格の扱いに関する注意事項

・JAMAシートでは、「材料規格」・「材料コード」・「材料記号」の組み合わせにより、材料を識別することがプログラム仕様の前提になっており、「材料規格」は必須入力です。一方、IMDSでは、材料の種類によっては「材料規格」は必ずしも必須入力ではありません。IMDSのデータをJAMAシートに載せる場合、**「材料規格」が空白であればダミー値として「-」(推奨)を設定してください。**

・JAMAシートでは「材料規格」は必ず1つであるのに対し、IMDSでは複数併記が可能です。今回のJAMAシートの改正で、複数併記の場合は先頭の1つのみ(最初のカンマの前まで)を処理対象としたため、**IMDSのデータをJAMAシートに載せる場合、複数併記のままで構いません。**

3. 標準材料の物質の並び順に関する注意事項

1) 背景

IMDSの標準材料データのうち、JIS材料かつJAPIAがメンテをしているものについては、JAMAシートの材料リストに組成の情報を持っています。これらの**一部に、IMDS上のデータとJAMAシート上のデータとで組成の物質の並び順が異なるものが存在します。**

これらのデータは、JAMAシート上で、IMDS由来かJAMAシート由来かを識別する術がないため、JAMAシート上で作成されたものとしてエラーチェックが行なわれます。その結果、物質の並び順が異なるものは不一致により**Node-ID[材料]の値が自動削除されてしまいます。**

この対策（並びを一致させる）については、膨大な量の過去データに影響が及ぶため、現時点で**恒久対策の実施予定はありません。**

2) 対応方法

Ver.4.02で対応済
物質の並び順が異なる標準材料については、Node-ID[材料]に「A」(推奨)を設定してください（後工程でIMDSにアップロードする場合は、新規材料として登録されます）。

【参考】IMDS上のデータとJAMAシート上のデータとで
物質の並び順が不一致なJAPIAメンテの標準材料の例（材料コード）

材料コード
SPCC
SUS304
CAC603C
C2100
A2011
.
.

4. エラーチェックに関する注意事項

1) 背景

JAMAシートは、選択入力によって不適切なデータが入力できない様にするという考え方で作られていることから、IMDSで行われるエラーチェックのいくつかは、JAMAシートには搭載されていません。

従って、IMDSから持ってきたデータに対して**JAMAシート上で不備を検出することは期待できません。**

2) 対応方法

IMDSからJAMAシートにデータを載せる場合は、予め、**IMDSのデータがIMDS001に準拠していることをご確認ください。**

来歴

来歴	改正日	適用Ver.	改正内容
N	2019/10/01	3.02	新規作成
1	2021/11/15	4.02	P6 Ver.4.02で対応済であることを記載
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			